

# 日本人権教育研究学会 第1回研究発表大会記事

## 大会概要

1. 期 日 2001年1月28日(日)
2. 会 場 兵庫教育大学 教育・言語・社会棟
3. 日 程

| 10:00 | 10:30                  | 11:40        | 13:30 | 15:30 | 15:45 | 16:45       |
|-------|------------------------|--------------|-------|-------|-------|-------------|
| 受付    | 研究発表<br>第1分科会<br>第2分科会 | ワーキング<br>ランチ | 研究発表  | 総会    | 講 演   | 懇<br>親<br>会 |

## 大会日程

1. 研究発表  
午前の部 10:30～11:30  
第1分科会(122教室)  
第2分科会(112教室)  
午後の部 13:30～15:30  
(122教室)
2. 講 演 15:45～16:45  
「21世紀の人権教育」  
就実女子大学 柴田 一 先生
3. 総 会 15:30～15:45  
・2000年度事業報告、途中会計決算報告  
・第1期役員選出  
・2001年度事業計画案審議、予算案審議
4. ワーキングランチ 11:40～13:30  
「私の関わってきた人権教育活動・影響のあった出来事」  
「日本人権教育研究学会の期待」  
ファシリテーター 福田 雅子 先生

## 研究発表要旨

【午前の部】-----

[第1分科会(122教室)] 司会者 河村 昭一(兵庫教育大学)  
古山 知己(兵庫県立尼崎北高校)

(1)「播州寄講の成立と展開」 和田 幸司(兵庫教育大学大学院)

本報告は「播州寄講」の成立とその展開を明らかにするものであった。従来、明らかにされてなかった「播州寄講」が部落寺院のみで構成された「講」であることを明示し、その地域的な範囲ならびに「丹州寄講」との関わりを報告した。

(2) 「鳥取市K校区における若者の『部落民』アイデンティティに関するエスノグラフィ」

岸本 順一 (兵庫教育大学大学院)

本報告は、ライフヒストリー法に依拠し、部落の若者のアイデンティティ選択の戦略、形成過程や固有の契機を明らかにしようと試みたものであった。ブルデュー、ヒューズの概念・方法を意欲的に援用している。

【第2分科会 (112 教室)】

司会者

安達 五男 (武庫川女子大学)

冨塚 秀樹 (同志社女子大学)

(1) 「野宿者をめぐる生活保護制度運用の現状と問題点」

伊藤 聖二 (兵庫教育大学大学院)

本報告は、野宿者に対する生活保護適用の実態の調査報告であった。野宿者と行政の関係を主に神戸市の事例を中心に、インタビューや質問紙による調査結果を基に生活保護制度運用の現状と問題点についての報告であった。

(2) 「差別意識・偏見の研究動向」

八尾 勝 (奈良大学附属高校)

本報告は「差別」「差別意識」「偏見」の概念規定についての従来からの研究史を整理し、心理学的研究の立場からの所見を述べたものであった。今後の人権教育実践のあり方を探るものでもあった。

【午後の部】 -----

司会者

山口 洋史 (兵庫教育大学)

名須川知子 (兵庫教育大学)

(1) 「『暴力・虐待』問題とジェンダー」

服部 範子 (兵庫教育大学)

本報告はジェンダー・性に関する学習・教育についての課題を報告するものであった。報告者は、この問題の学習が個人の側からお互いの人権を尊重しつつ社会関係を形成、維持する方途を模索することになるとの見解が示された。

(2) 「アボリジニに対する北部準州の取り組み」

片桐 史恵 (中部学院大学)

本報告は、オーストラリア政府がアボリジニに対し、過去、如何なる政策をとってきたか、そして現在いかなる政策をとっているかについての調査報告から、アボリジニの現在と将来についての理解を試みるものであった。

(3) 「『権利』としての人権を学ぶ意義 - 人権教育は何をめざすのか - 」

米田 真澄 (京都女子大学)

本報告は「権利としての人権」という枠組みの重要性を言及するものであった。報告者は社会教育における人権研修によって得られた情報を背景として、法学の概念を教育現場で実践していく重要性の理論提起でもあった。